



活動について



数学同好会は会員が自ら**数学を楽しむ**とともに数学への理解を深めること、
協調性を養いつつ各種**数学コンテスト**へ参加すること、

数学の魅力を多くの人に知ってもらう活動を行うことを目的としています。

そのために、昨年度は学生チャレンジプロジェクト「**数学LOVE!**」として、
今年度から「**数学同好会**」として「**数学オリンピック**」「**数学甲子園**」の予選に出場したり、

「**高専祭**」や「**青少年のための科学の祭典**」などに出席して、
数学の魅力を広めるための活動を行ったりしました。

勉強面では努力が実り「**第26回日本数学コンクール**」団体戦で**大賞**
を受賞し、SIMCに招待していただきました。

今年も「**第27回日本数学コンクール**」団体戦で、
出場した**2チームとも** **優良賞**を受賞しました。

また**広報活動**の面では大和郡山市のイベント「**記憶力大会**」のコラボ
企画として出展して、HPや冊子などに載せていただきました。

同好会設立1年目にして21人の部員が入会し、
勉強面・広報面ともに結果を残すことができました。

今後の抱負としては、去年できなかった
数学オリンピックの本選出場、そしてこれからも

数学同好会の活動の幅を広げるために
知名度を上げつつ、もっと **数学LOVE!**な仲間を増やす
よう努力したいと思います。

勉強会について

勉強会は毎週行われ、お互いに
意見を交わしたりそれぞれの解き方を
発表したりと、**教え合いながら勉強をする**
ので数学の力を効率よく高め、
協調性を養うことができます。

具体的な勉強内容は、基礎的なことや普段の授業で
習わない応用的なこと、**数学オリンピック**などの
コンテストの過去問を解いたりしています。

僕たちは去年1年間コツコツと勉強会を続けてきたため
数学の基礎の力が付き、
普段の授業でもよい成績が取れるようになりました。

また、試験問題を解く時も勉強会で得た知識が生かされてとても有意義
な時間であったと思いました。

しかし反省点として、好みでない單元にはあまりやる気が出なかった
こと、問題の答えを出す前に解いた気になっていたことが
ありました。

その反省点を改めて、これからの勉強会では解法を求めること
だけで満足感を得ずに最後まで解くことを目標にして
モチベーションを高めたいと思います。



数学同好会

科学イベントについて

「**青少年のための科学の祭典**」や
「**記憶力大会**」ではポスターや

多面体模型作成キット「**ゾムツール**」を用いて

数学の定理を紹介する出展を行い、**数学の魅力**を
広めるための活動に力を注ぎました。

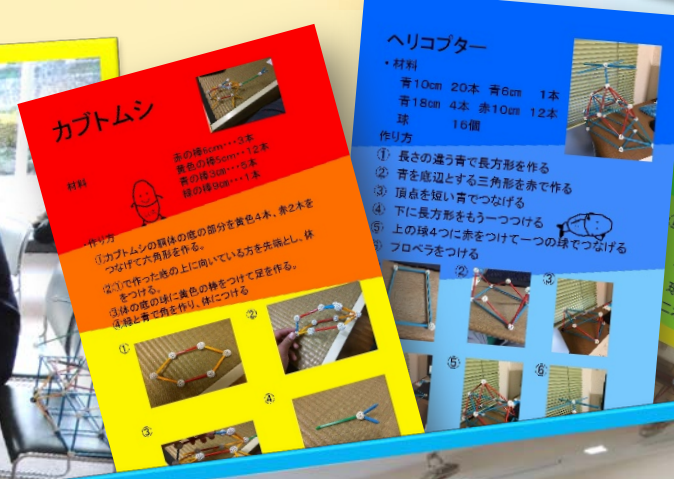
準備期間ではゾムツールについての説明書などを
皆で放課後に集まり毎日作成に追われて忙しかったです。

これらの活動ではとても大変な思いをしたのですが、仕事の分業化など、
より**効率よく作業を進める方法**を模索することの大切さを知りました。

来ていた子供に付き合っていた大人の方々にも次第に真剣に取り組んで
もらえたので**数学の魅力**がたくさんの人に分かってもらえて嬉しかったです。

初めての挑戦だったこともあり、経験不足で先生方には大変協力してもらいましたが
部員主体で取り組む努力をしました。この経験を生かして今年はいよいよ積極的に
取り組んでいきたいと思っています。

また、広報誌「**Campus2015 Autumn**」と「**Campus2016 Spring**」に載せていただき、
活動の成果である**SIMC**への出場などの広報も行うことができました。



SIMCについて

SIMC (シンガポール国際数学チャレンジ) とは
2年に一度シンガポール国立大学附属数学科学高校で
5日間かけて行われる**非常にレベルの高い数理モデル**
をテーマとした大会です。

メンバー4人が「**第26回日本数学コンクール**」団体戦で
大賞を受賞したため、この大会に推薦をいただき出場
しました。

この国際大会に備えて、英語でのプレゼン練習をしたり
国際交流に慣れるために短期留学生の方たちとお茶会を
開いたりしました。

大会では初日に公開された問題に対して英語による解答
レポートとプレゼン資料を3日間で仕上げ審査に挑みま
した。

徹夜で考えても全く分からない難問もあり、結果を残せず
とても悔しい思いをしました。**この経験をバネにして卒業研究**
や今後のコンテストではさらに上を目指せるよう頑張ります。

